



佐々木小

令和3年5月14日

第2号

佐々木小学校

新発田市則清 856

TEL.0254-27-2011

悔しい気持ちは心の財産

校長 齋藤 博敏

「フレーフレー赤組！」 「がんばれがんばれ白組！」

朝活動の時間、子どもたちが運動会の応援練習をする声（マスク越しですが）が聞こえてきます。昨年度は9月に実施した運動会でしたが、今年度は、感染症並びに熱中症対策をしっかりと講じ、御案内のとおり5月22日（土）に実施します。5月に運動会を行うのは、新しい学年になったことを自覚し、協力し合ったり競争し合ったりしながら、精一杯努力して事を行うことによって、子どもたちが集団生活の楽しさや喜びを味わうことができます。そんな良さがあるからだと思っています。

昨年度の運動会で、決して忘れることができないシーンがありました。

昨年度は競技の部・応援の部で白組がダブル優勝しました。閉会式終了後、赤組の応援席に目をやると、応援団長が顔を下に向け、動けずにいました。そして、6年生の応援団員2名が応援団長の肩に手を添えている姿がありました。心配になり、近寄ってみると、応援団長はじめ6年生の応援団員が大粒の涙を流していました。私は何と言葉を掛けていいのか、分かりませんでした。とっさに出た言葉が「真剣にやったから、一生懸命やったから出た涙なんだよ。いい加減にやっていたら涙は出ないんだよ…」でした。翌々日の代休明けの朝、6年生の応援団員3名は、いつもと変わりなく「おはようございます」と笑顔で登校してきました。

果たしてあの言葉掛けでよかったのかどうか...今はまだ分かりません。

ただ、今後の人生で悔しい思いをしたときに少しでも思い出してくれればと願っています。

5月の全校朝会で、絵本「うんどうかいがなんだ」（きむらゆういち作）を読み聞かせました。本の内容については、お子さんにお聞きください。最後に、作者のきむらゆういちさんの言葉「悔しい気持ちは心の財産」を紹介しました。

「悔しい気持ちは心の財産」

絵本作家になる前の頃でした。ボクはとても悔しい思いをしたことがあります。その悔しい思いがバネになり、それから頑張って絵本作家になりました。今思えばあの悔しい思いがあったからこそ、作家になれたのかもしれない。そうか、悔しい思いって大事なんだ。例えば運動会だって同じです。競技に負けていいんです。一生懸命やって負けて悔しい思いをするからいいんです。その悔しい思いは、この次はもっと頑張ろうと思う気持ちのバネになります。悔しいと思う気持ちは、将来の心の財産です。もちろん競技に勝てば、自信という心の財産になります。勝っても負けても必ず心に得るものがあります。でもそれは一生懸命頑張らなければ得られません。運動会に限らず、どんなことでも一生懸命やれば、たとえ失敗しても必ず得るものがあるのです。

さて、今年度の運動会では、どんなドラマが展開されるのか、今から楽しみにしています。と同時に124名一人一人が、運動会の練習や当日の経験をとおして、さらに大きく成長してほしいと願っています。